

## 利用者個々に向き合うケア ～その方の排泄から暮らしを支える～

特別養護老人ホームつばさ豊田  
介護主任 山本 幸恵

特別養護老人ホーム

つばさ豊田

平成19年4月25日開設



介護老人福祉施設 50床  
短期入所生活介護事業所 20床  
通所介護事業所 40名  
認知症対応型通所介護事業所 20名  
居宅介護支援事業所

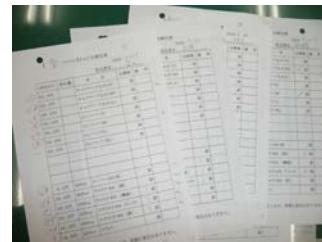
### <取り組んだ課題>

適切な排泄を提案し  
利用者の快適な暮らしを目指す



### <具体的な取り組み(1)-1>

出庫伝票記入によりオムツ・パッドを持ち出す  
(H20年4月より)



### <具体的な取り組み(1)-2>

オムツ入出庫表・各ユニット出庫表による在庫管理 (H20年4月より)

ユニット	品名	在庫	入庫	出庫	残高
1	オムツ	100	50	20	130
1	パッド	50	20	10	60
2	オムツ	80	40	15	105
2	パッド	40	15	5	50
3	オムツ	60	30	12	78
3	パッド	30	10	4	36
4	オムツ	40	20	8	52
4	パッド	20	8	3	25
5	オムツ	20	10	4	26
5	パッド	10	4	1	13

### <具体的な取り組み(2)>

#### ◎ 排泄委員会活動

- ① 出庫伝票によるオムツ・パッド持ち出しを周知徹底
- ② オムツ入出庫表によるオムツ・パッドの使用状況を理解する
- ③ 排泄チェック表記入方法の統一
- ④ ケース検討会による情報交換
- ⑤ オムツ勉強会の開催
- ⑥ 排泄事例報告

## 排泄事例報告 (H22年2月)

- ①食物繊維入りゼリー使用前後についての考察
- ②オムツ・パッドのムレを臀部発赤の改善について
- ③排泄パターンを把握し快適な生活への提案
- ④安定した生活はトイレでの排泄から

## 排泄事例報告 (H22年3月)

- ①排泄パターンを知ることで危険を防ぐ
- ②安眠を優先したオムツの交換
- ③排泄にあったパットの見直し  
～快適にすごしていただく為に～
- ④利用者様の意思を尊重した排泄介助

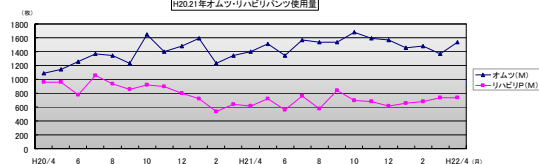
## 排泄事例報告発表



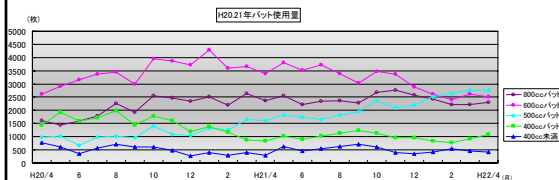
## 排泄事例報告発表



H2021年オムツ/パッド/リハビリパンツ使用量



H2021年パット使用量



## <活動の成果と評価>

- 利用者中心の排泄
- 利用者の問題点改善
- 個別ケアの重要性を学ぶ
- 対象者との関わりに喜びを見出す
- 職員間交流



## <今後の課題>

- 利用者の課題を明確にする
- 個々の排泄パターンによる適切な排泄の提案



ご静聴ありがとうございました。